

仲町小 学校だより



メールアドレスe-mail : nakacho-e@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス<http://nakacho-e.saitama>

2学期のスタートにあたって

校長 河野 秀樹



私は、今夏念願だった島根県隠岐諸島を旅しました。観光タクシーの地元ベテランドライバーや観光船案内のIターンの若者は、にこやかに接してくれました。また、島の歴史や自然を丁寧に伝えるだけでなく、島民の生活や課題などについても、自信と誇りに満ちた表情で生き生きと語ってくれました。どんな質問にも分かりやすく答えてくださり、私は旅の充実感を味わうとともに、また訪れたいと思いました。

仲町小の子どもたちも、それぞれの仕事に一所懸命取り組んでいる地域の方から、直接専門的なことを教わっています。3年生は6月の総合的な学習の時間に、江戸時代から続く老舗鰻店山崎屋の椎名様から、ウナギの講義を聴き、ウナギつかみの体験活動をさせていただきました。質疑応答では「うろこはあるの?」「たれは甘い?」「毎日どれくらい売れるの?」「今も浦和でとれるの?」「ウナギはどうして日本にくるの?」など、子どもらしい疑問が次から次へと出てきました。学習後のサンキューカードには、一人一人の分かったことや知りたいことが具体的に書かれていました。例えば「昔は大きな沼がたくさんあったから、浦和はウナギが有名だと分かりました。ウナギ専用の包丁があることも分かりました。ウナギの歴史をもっと知りたいです」「ウナギは海で生まれて、海を渡って日本に来ます。日本へ来るときたくさん姿をかえてきます」「ウナギはぬめぬめのおかげで、水がないところでも歩けます」「ウナギ料理はウナギの蒲焼以外にも、卵焼きを合わせたう巻きや蒲焼をご飯と合わせずに食べるなど、いろいろな食べ方があります」など。

浦和駅や別所沼公園には、「浦和うなぎちゃん」の像があります。「浦和うなぎちゃん」をデザインしたのは、やなせ たかし さんです。やなせ氏は「手のひらを太陽に」の作詞者です。絵本「あんぱまん」の作者としても有名で、その絵本は今年刊行50周年を迎えたそうです。やなせ氏は、ほかにも「うなぎ小唄」を作詞作曲しています。著書には、次のように記されています。

浦和もうなぎやさんが多い。浦和レッズのサッカーが強いのは、うなぎのエネルギーのせいかもしれない。現在全国で市町村の合併が進行している。浦和市も合併してさいたま市になった。合併記念に「うなぎまつり」を盛大にやることになった。くわしく言えば長くなるが、運命の歯車がカッチンコッチンとまわって、うなぎまつりの歌とキャラクターをぼくがつくることになった。

本校では、今後も地域の方をゲストティーチャーに招聘して、子どもたちの主体的な学習を促す授業を行っていきます。2年生は生活科で、農家の方の御指導を受けヨーロッパ野菜を育てていきます。また、まちたんけんでは地域の施設やお店などを訪問して、見学したり質問したりします。5年生は総合的な学習の時間で、埼玉大学の先生によるブラインドフットボール体験を行います。福祉委員会の児童は、シニアサポートセンター(地域包括支援センター)の方による認知症サポーター養成講座を受講します。

保護者や地域の皆様には、引き続き学校教育への御理解、御協力をお願いいたします。

参考資料：オイドル絵っせい 人生、90歳からおもしろい! やなせ たかし 新潮文庫